

Semyon Bychkov & Czech Philharmonic

# チェコ・フィル

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

セミヨン・ビシュコフ

(指揮 / 音楽監督)

Semyon Bychkov  
Conductor & Music Director

チョンソンジン (ピアノ)  
Seong-Jin Cho, Piano

アナスタシア・コベキナ (チェロ)  
Anastasia Kobekina, Cello

© Stephan Rabold

© Lusine Pepanyan

© Petr Chodura



© Petra Hajská

2025年 **10月22日(水)** 19:00開演 18:20開場  
(終演予定 21:00)  
7:00p.m., Wednesday, October 22 at Suntory Hall

ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調 M.83

[ピアノ] チョンソンジン

Ravel: Piano Concerto in G Major, M.83 <Piano> Seong-Jin Cho

ショスタコーヴィチ：交響曲 第8番 ハ短調 Op.65

Shostakovich: Symphony No.8 in C Minor, Op.65

10月23日(木) 19:00開演 18:20開場  
(終演予定 21:00)  
7:00p.m., Thursday, October 23 at Suntory Hall

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 Op.104

[チェロ] アナスタシア・コベキナ

Dvořák: Cello Concerto in B Minor, Op.104 <Cello> Anastasia Kobekina

チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 Op.64

Tchaikovsky: Symphony No.5 in E Minor, Op.64

サントリーホール

東京メトロ池山王駅13番出口 徒歩10分  
東京メトロ六本木一丁目駅3番出口 徒歩5分

S ¥25,000 A ¥21,000 B ¥16,000 C ¥12,000 D ¥8,000 (税込)

主催：ジャパン・アーツ

後援：チェコ共和国大使館

5月24日(土) 10:00～ 一般発売 5月17日(土) 10:00～ ジャパン・アーツぴあオンラインチケット先行発売

お問合  
お申込

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 suntory.jp/HALL

チケットぴあ t.pia.jp <Pコード：298-389> イープラス eplus.jp ローソンチケット l-tike.com <Lコード：36947>

※料金には消費税が含まれています。

※特別割引チケットにつきましては裏面をご覧ください。

※先行販売等で満席になった席種は、以降販売されません。

## 円熟の名匠と芳醇な名楽団の佳き熟成を聴く

チェコ・フィルといえば、しなやかな弦楽器とまろやかな管楽器が生み出す芳醇な音色が特徴。中・東欧伝統の柔らかなサウンドは広く愛されている。しかも2013年名匠ピエロフラヴェックが首席指揮者に再就任後は緊密な機能美を兼備し、2018年音楽監督・首席指揮者に就任したビシュコフが新たな充実期をもたらした。

ビシュコフは経験豊富な国際派にして、チェコと同じスラヴ文化圏のロシア出身。骨太で恰幅の良い音楽作りが持ち味だが、年々繊細なニュアンスを加えており、指揮者として円熟期を迎える60代後半にコンビを組んだチェコ・フィルとは理想的な関係を築き上げている。特に前回2023年の日本公演は圧巻の一語。ビシュコフのドラマティックな構築性と全体に若返った楽員たちの意欲溢れるパフォーマンスが相まって、いつになく引き締まった快演が展開された。

今回はコンビ7年を経た時点での来日。まずはその熟成度に期待がかかる。演目はビシュコフの母国ロシア物が中心。これは意外に目新しい。メインの1つはショスタコーヴィチの交響曲第8番。ショスタコーヴィチは1980年代にビシュコフ躍進の契機となった作曲家

であり、第8番もベルリン・フィルとの1990年録音で覇気と緊張感に満ちた凄演を聴かせている。もう1つはチャイコフスキーの交響曲第5番。同作曲家はビシュコフが監督就任前からチェコ・フィルとプロジェクトを行い、第5番も2017年の録音であらゆるフレーズに生氣を与えた雄弁な名演を展開している。となれば何れも時を経た今の表現に熟視線が注がれる。

共に1994年生まれのスリストも魅力十分だ。ショパン・コンクール優勝後、情感の幅を増しているチョ・ソンジンは、ラヴェルのピアノ協奏曲を鮮やかに奏でる。彼は、パリ音楽院で学び、ラヴェルのピアノ作品全集の録音も完成。同曲でもダイナミックで瑞々しい快演を繰り広げている。2019年チャイコフスキー・コンクールで第3位を受賞したチェロのアナスタシア・コベキナは、古楽とモダンの両楽器を操る柔軟な音楽性と豊かな表現力の持ち主。ドヴォルザークの協奏曲もYouTubeで強靱かつしなやかな好演を披露している。むしろ同曲では本家本元の管弦楽も楽しみだ。

チェコ・フィル特有の中音寄りの馥郁たる音で醸成される音楽は、他にない味わいに満ちている。そこにビシュコフがいかなる彫琢を施すか？注目はすこぶる高い。

柴田克彦 (音楽評論家)



© Petra Hajska

セミヨン・ビシュコフ (指揮/音楽監督)  
Semyon Bychkov, Conductor & Music Director

1952年レニングラード生まれ。2018年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者・音楽監督に就任。チャイコフスキー・プロジェクトに続き、2024年にはスメタナ生誕200周年を記念した欧米ツアーと録音を展開。現在はマーラー・チクルスを進行中。ベルリン・フィル、ウィーン・フィルなどの録音に加え、BBCやMusical Americaで高い評価を受け、2015年インターナショナル・オペラ・アワード、2022年Musical Americaにて「コンダクター・オブ・ザ・イヤー」に選出。チェコ・フィルでは新作委嘱や教育活動にも注力。また世界各地の主要楽団・歌劇場にも定期的に客演している。



© Stephan Rabold

チョ・ソンジン (ピアノ)  
Seong-Jin Cho, Piano

ソウル生まれ。2009年浜松国際ピアノコンクール最年少優勝。2011年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。2015年にショパン国際ピアノコンクール優勝。翌年にドイツ・グラモフォンと専属契約締結。2023年、クラシック音楽界への貢献が認められサムスン湖蔵賞を受賞。これまでラトルやネルソンスといったカリスマ指揮者のもと、ウィーン・フィル、ニューヨーク・フィルなど世界有数の一流楽団と多数共演。2024/25シーズンにはベルリン・フィルのアーティスト・イン・レジデンスに就任。BBCプロムス、ヴェルビエ等、世界の音楽祭にも数多く出演しており、今シーズンはカーネギー・ホールほか世界各地の劇場でラヴェルの作品を演奏している。



© Johanna Berghorn

アナスタシア・コベキナ (チェロ)  
Anastasia Kobekina, Cello

ロシア生まれ。フィガロ紙に「比類なき音楽家」と称された彼女は、その卓越した音楽性と多彩な演奏、そしてダイナミックな存在感で聴衆を魅了してきた。2024年にはバーンスタイン賞を受賞し、ソニー・クラシカルからデビュー・アルバム《ヴェニス》をリリース。同年、ヤクブ・フルシャ指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団との共演でBBCプロムスにデビューしたほか、ラインガウ音楽祭ではフォーカス・アーティストとして注目を集めた。今シーズンのハイライトとしては、セミヨン・ビシュコフ指揮チュエリッヒ・トーンハレ管弦楽団等との共演が予定されている。1698年製ストラディヴァリウスを使用。



© Petra Hajska

### チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 Czech Philharmonic

1896年、ドヴォルザーク自作自演による創立公演で誕生。以来、マーラー、ヤナーチェク、マルティヌーらの作品を支え、チェコの音楽遺産を体現する存在として高い評価を得てきた。

2024年には『グラモフォン』誌「オーケストラ・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

2025/26年の創立130周年シーズンは、首席指揮者・音楽監督であるセミヨン・ビシュコフのもと、チャイコフスキーやショスタコーヴィチを中心としたプログラムで開幕。世界各地を巡演し、プラハの春音楽祭や国際フェスティバルにも出演。アーティスト・イン・レジデンスはピアニストのエフゲニー・キーン。ラトル、フルシャら首席客演指揮者陣も参加する。

#### <2025年 その他の日本公演全国スケジュール>

- 10/19(日) ザ・シンフォニーホール ★  
[問]ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333
- 10/20(月) NHKホール  
[問]ハローダイヤル 050-5541-8600
- 10/21(火) 文京シビックホール ★  
[問]シビックチケット 03-5803-1111
- 10/25(土) 所沢ミュージズ ◎  
[問]ミュージズチケットカウンター 04-2998-7777

★チョ・ソンジン出演 ◎アナスタシア・コベキナ出演

#### <<特別割引チケットのお知らせ>>

- ジャパン・アーツびあで受付
- ◎シニア割引 (公演当日65歳以上) : S席を¥24,000、A席を¥20,000でお求めいただけます。
- ◎学生割引 (社会人学生を除く公演当日25歳以下の学生) : 各ランク半額にてお求めいただけます。残席がある場合に限り、9月22日(月)10:00より受付を開始します。当日は学生証を提示のうえご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴します。)
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(コールセンターのみ)

#### 次のことをあらかじめご了承のうえ、チケットをお求めください

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケット購入後のキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくこととなります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。なお、就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等電子機器の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売はトラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ◎他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
- X (旧Twitter)でフォローする  
X @japan\_arts